

日本文学

(Japanese Literature)

担当教員

非常勤講師 瀧本 和成

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	1年次 前期	講義	1.5単位	選択

【概要】

本講義では、随想 というジャンルに照明を当て、その魅力について考えたい。とくに近代の随想に注目し、ジャンルとしての随想が成立する社会背景を視野に入れて、その特質や意義についても考察したい。

近代の随想の中でも「よい文章である、とだけ言えばだれにでも通ずる作品」(ショウペンハウエル)を選び、鑑賞していきたい。

【授業の一般目標】

近代の随想の魅力や楽しさを享受し、日本近代文学の思潮を視野に入れながら、ジャンルとしての随想が成立する社会との関わりで理解、認識することを第一の目標とする。そのうえで随想の社会におけるその役割や(存在)意義について考察することを第二の目標とする。

【準備学習(予習・復習)】

講義はテーマを視野に入れ、作品鑑賞を丁寧に行いますので、作品を読んでください。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	石川啄木「硝子窓」(1)	瀧本	石川啄木「硝子窓」の特質を把握できる。
2	石川啄木「硝子窓」(2)	瀧本	石川啄木「硝子窓」の位置づけを把握できる。
3	石川啄木「硝子窓」(3)	瀧本	石川啄木「硝子窓」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解できる。
4	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」(1)	瀧本	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」の特質を把握できる。
5	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」(2)	瀧本	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」の位置づけを把握できる。
6	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」(3)	瀧本	石橋湛山「空想も現実も共に現実也」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
7	森鷗外「馬琴日記鈔の後に書く」(1)	瀧本	森鴎外「馬琴日記鈔の後に書く」の特質を把握できる。
8	森鷗外「馬琴日記鈔の後に書く」(2)	瀧本	森鴎外「馬琴日記鈔の後に書く」の位置づけを把握できる。
9	森鷗外「馬琴日記鈔の後に書く」(3)	瀧本	森鴎外「馬琴日記鈔の後に書く」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
10	新居格「人生老い莫し」(1)	瀧本	新居格「人生老い莫し」の特質を把握できる。
11	新居格「人生老い莫し」(2)	瀧本	新居格「人生老い莫し」の位置づけを把握できる。
12	新居格「人生老い莫し」(3)	瀧本	新居格「人生老い莫し」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解できる。
13	高田保馬「追憶の上海」(1)	瀧本	高田保馬「追憶の上海」の特質・位置づけを把握できる。
14	高田保馬「追憶の上海」(2)	瀧本	高田保馬「追憶の上海」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解できる。
15	総括・まとめ		

教科書 『随想選 サフラン-沈黙と思索の世 上田博、C・FOX、瀧本和成編 嵯峨野書院
(書名) (著者・編者) (発行所)
界へ-』

参考書 参考書・研究書等は講義中適宜指示する。

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を主とし、これに出席等の平常点を加味して総合評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

質問時間：毎水曜日・昼の休憩時間に非常勤講師控室（躬行館2階）にて(事前連絡不要)。